

絵はがきに見る 徳島の姿

第16回 資料紹介展



1998年8月4日[火] ▶ 10月24日[日] 午前9:30 ▶ 午後5:00

休館日 毎週月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)・毎月第3木曜日

徳島県立文書館 展示室

[入場無料]

絵はがきについて

旅先からの一枚の絵はがきが強い旅情を誘い印象的なことがあります。また多くの博物館や美術館などでも主な所蔵品の絵はがきを作っており、現代のわれわれにとってもとても身近な存在といえるでしょう。

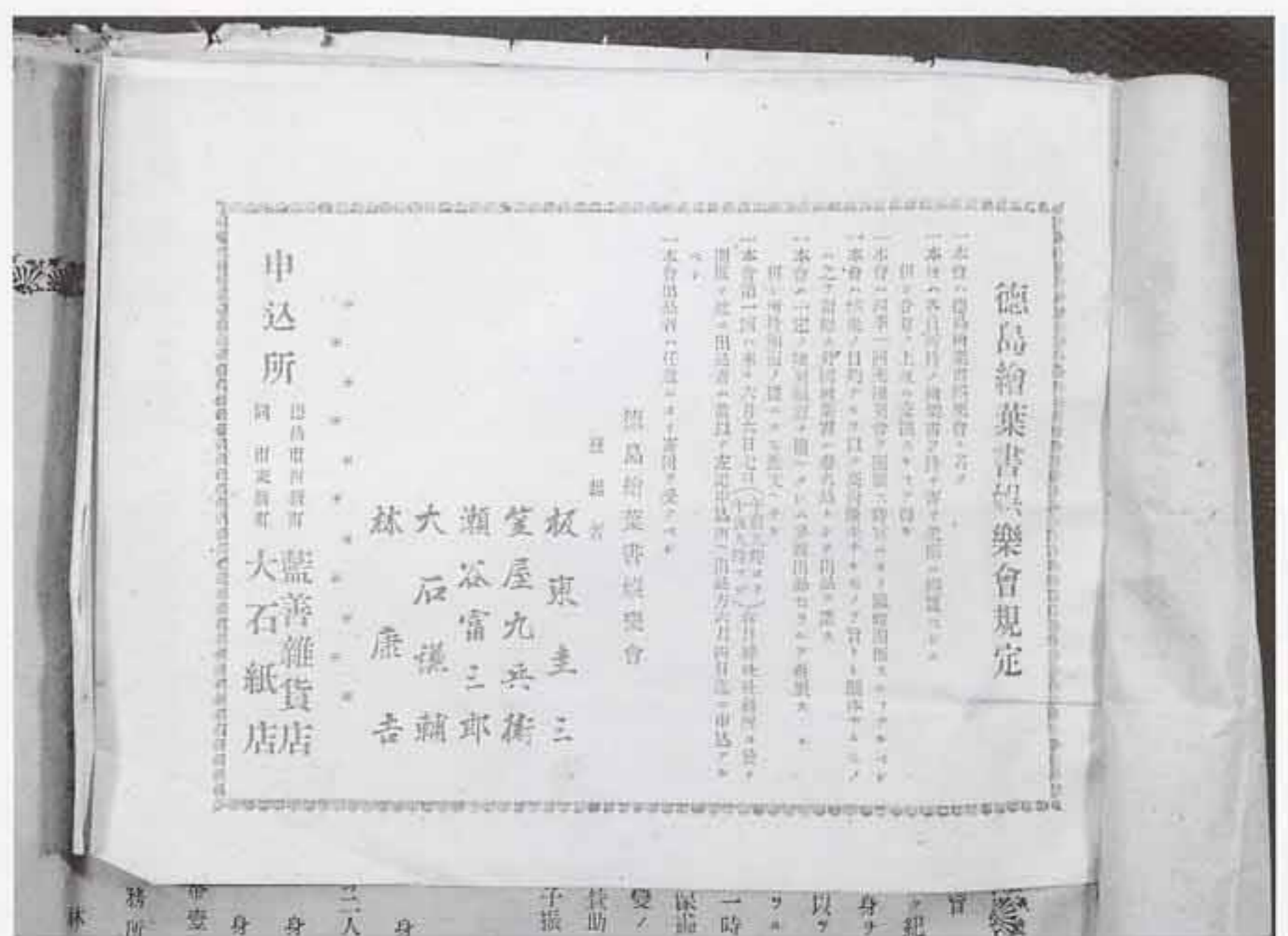
日本での絵はがきの歴史は、明治三十三年（一九〇〇）十月一日私製葉書の製造が認可されたことに始まります。特に、二年後の明治三十五年「万国郵便連合加盟二十五年記念」で出された官製の記念絵はがきの登場以後、印刷技術の進歩とともに爆発的に作られるようになり、日露戦争の記念絵はがきなどを初めとして人々のコレクションの対象になっていきました。絵はがきには、観光地の風景や史跡などを名所絵はがきや風景絵はがきのほかに、建物の新築や橋や鉄道の開通などに出された記念絵はがき、事件や都市の風俗などを伝える時事絵はがき、プロマイドの原形ともいえる美人絵はがきなどさまざまな種類があり、それぞれコレクターを喜ばせてきました。徳島でも明治期には、絵はがきの収集仲間が集まって、「徳島絵葉書倶楽会」という趣

味の会が作られました。その規定チラシによれば、各自のコレクションした絵はがきを持ち寄り展示会を持つこと。その展示会は交換会を兼ねていたこと。展示会は年に四回開くこと。展示会は、額を備えてあり、多くの出品を希望していることが書かれています。また、展示会の第一回は、六月六日・七日に徳島の春日神社社務所で開催することが決められています。さらに、絵はがきは、高尚優美なるものを対象とし、醜体なものは謝絶すること、また、外国絵はがきは参考出品とすることが書かれており、爆発的に作られはじめた国産の絵はがきを対象にしていたことがわかります。こうした趣味の会は日本全国に広がっていたでしょう。

こうして趣味の品として残されてきた徳島の絵はがきには、昔からの徳島の代表的な風俗であった「阿波踊り」を初め、印象に残る風景や新築などの記念絵はがきがあり、写真資料として風俗や景観を記録したものとして貴重なものといえます。



「万国郵便連合加盟二十五年記念」絵はがき(明治35年)



「徳島絵葉書倶楽会規定」(明治期)

いあいわし

第十六回資料紹介展は「絵はがきに見る徳島の姿」といたしました。これは徳島県内に残されている明治・大正・昭和の徳島の絵はがきを集めての展示であります。

現在も絵はがきは全国各地の観光地や文化施設に行けば、種々な風景や所蔵品を写して絵はがきとして販売されています。しかし、最近絵はがきに代りテレホンカードが好評で、旅行土産や友達へのプレゼントとして買われています。そのため、テレホンカードに観光地の写真を入れたり、文字等を幾何学的にして宣伝効果を高めています。まさに、絵はがきは一昔前の土産品として忘れ去られようとしています。一方、今も人気のある絵はがきと言えば、外国旅行で買われている各国の絵はがきであります。現在の外国ツアー旅行は、夕方から夜は自由時間が多くあるので、現地より家族や友人等に近況報告として利用されています。見慣れない風景の絵はがきをいただいて、元気に外国旅行を楽しまれている姿を想像して、羨やましく思われたことは、二度や三度はあったことと思えます。

今回の絵はがきを見てみると、昔なつかしい写

真であったり、自分が子供時代に遊んだ場所であったり、中には、友達が阿波踊りを踊っている姿であったりしています。特に、私の中で驚いた絵はがきは、富岡高等女学校の体操の一場面です。富女高は今徳島県立富岡東高等学校にあります。富女高は毎年、毎年の体育祭では写真の体操が全校女生徒による富女体操として伝統種目になって残されています。平成八年度の一年間の奉職ではありましたが、女生徒全員による集団演技には感動をおぼえました。派手さやテンポの早さはありませんが、運動場いっぱい、心一つにして演じる集団美の美しさは、高校生の躍動する情熱を感じると同時に、伝統がこのような形で生きづいている姿には喜びを感じました。

展示を見ていただいた方々にも、幼き頃の思い出や親子で遊山に行った場所を思い出していただければ幸いです。

展示にあたり資料を提供いただきました方々や、資料収集に御協力いただきました文書館資料調査員の方々に心より御礼申し上げます。

平成十年八月四日

徳島県立文書館長 小林勝美

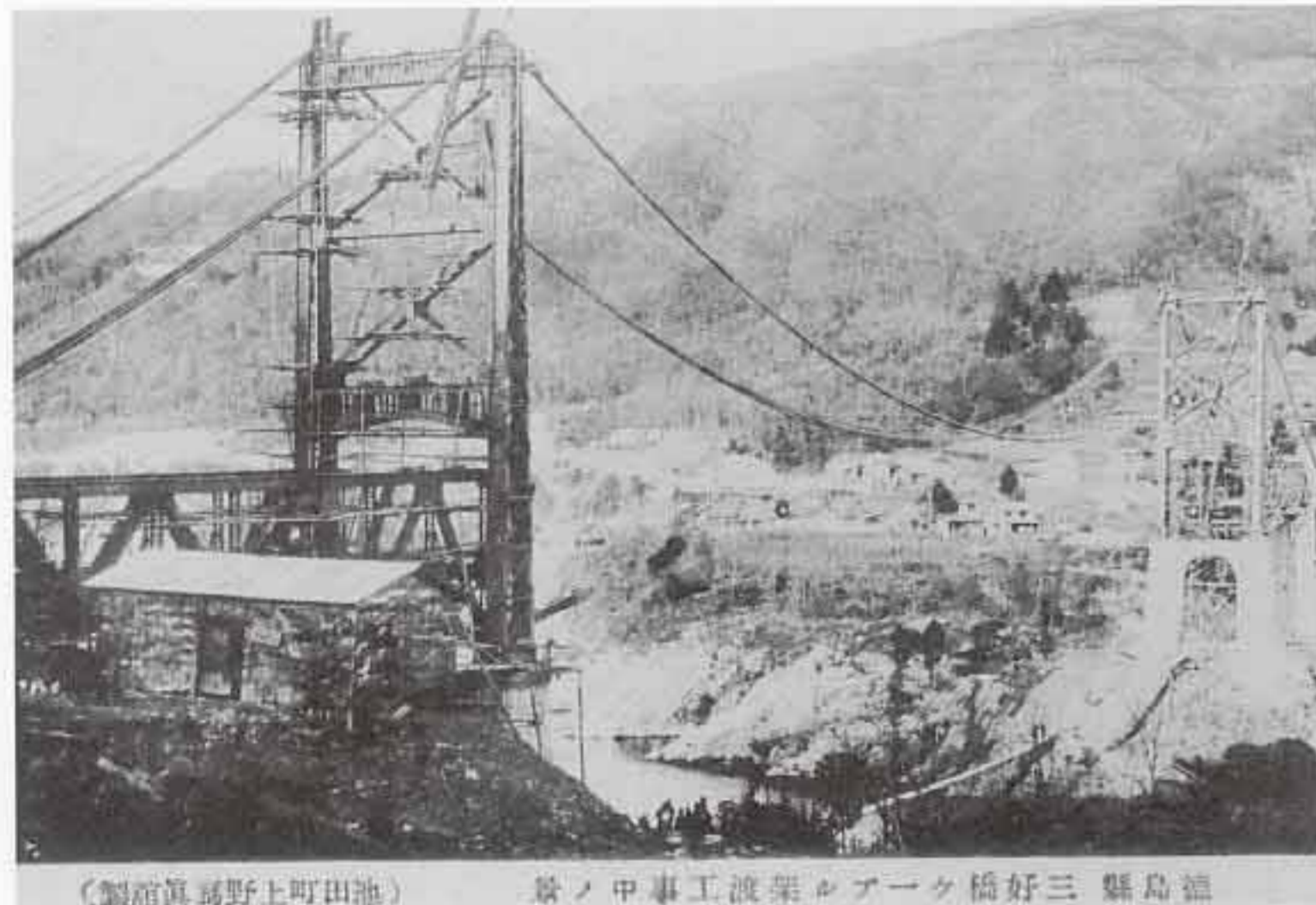


「那賀郡立那賀実科高等女学校(現富岡東高等学校)第6回運動会」絵はがき

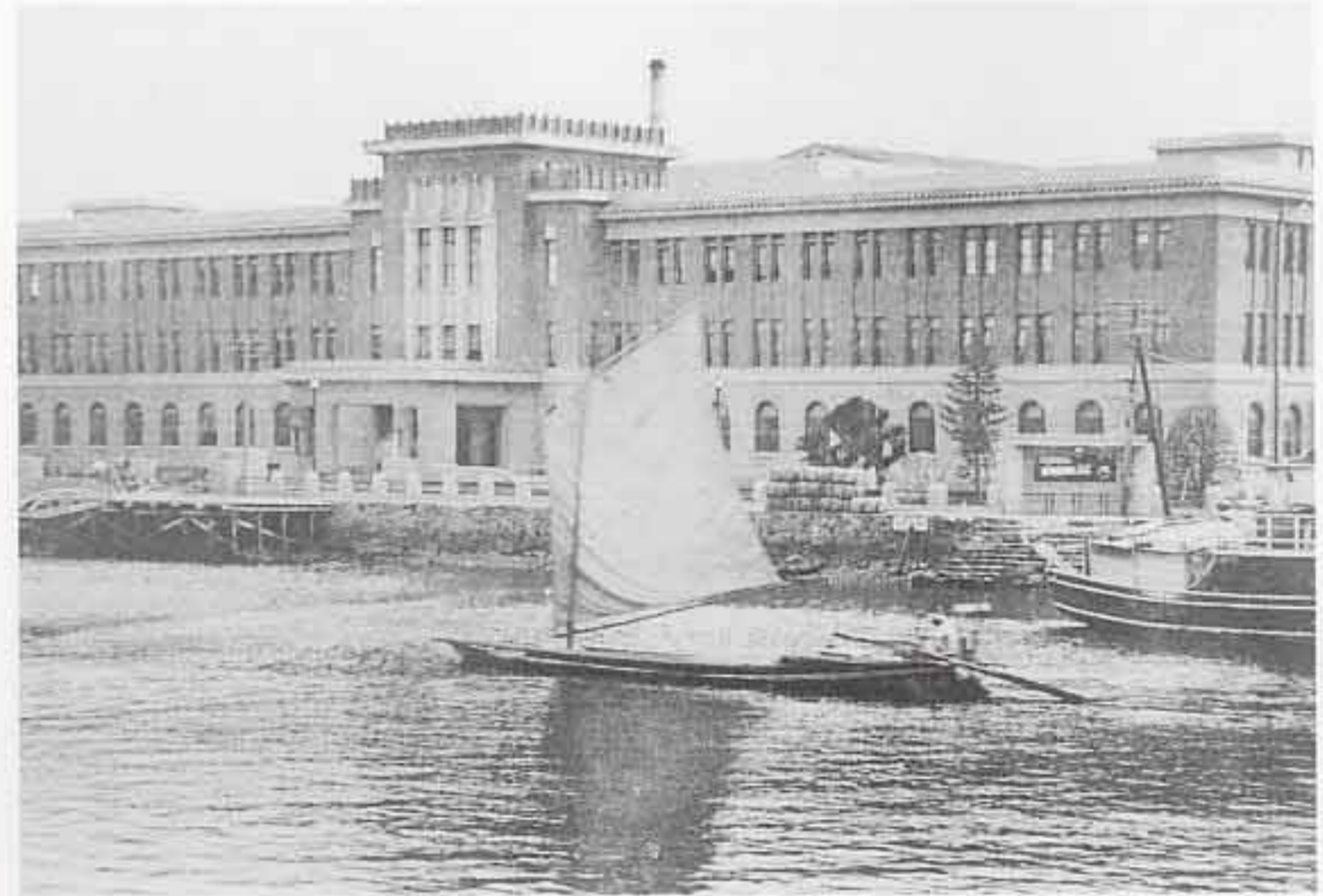


(村昆西部城廊縣島徳) 庫交郷吳
吳郷文庫 (昭和初期)

橋・建物



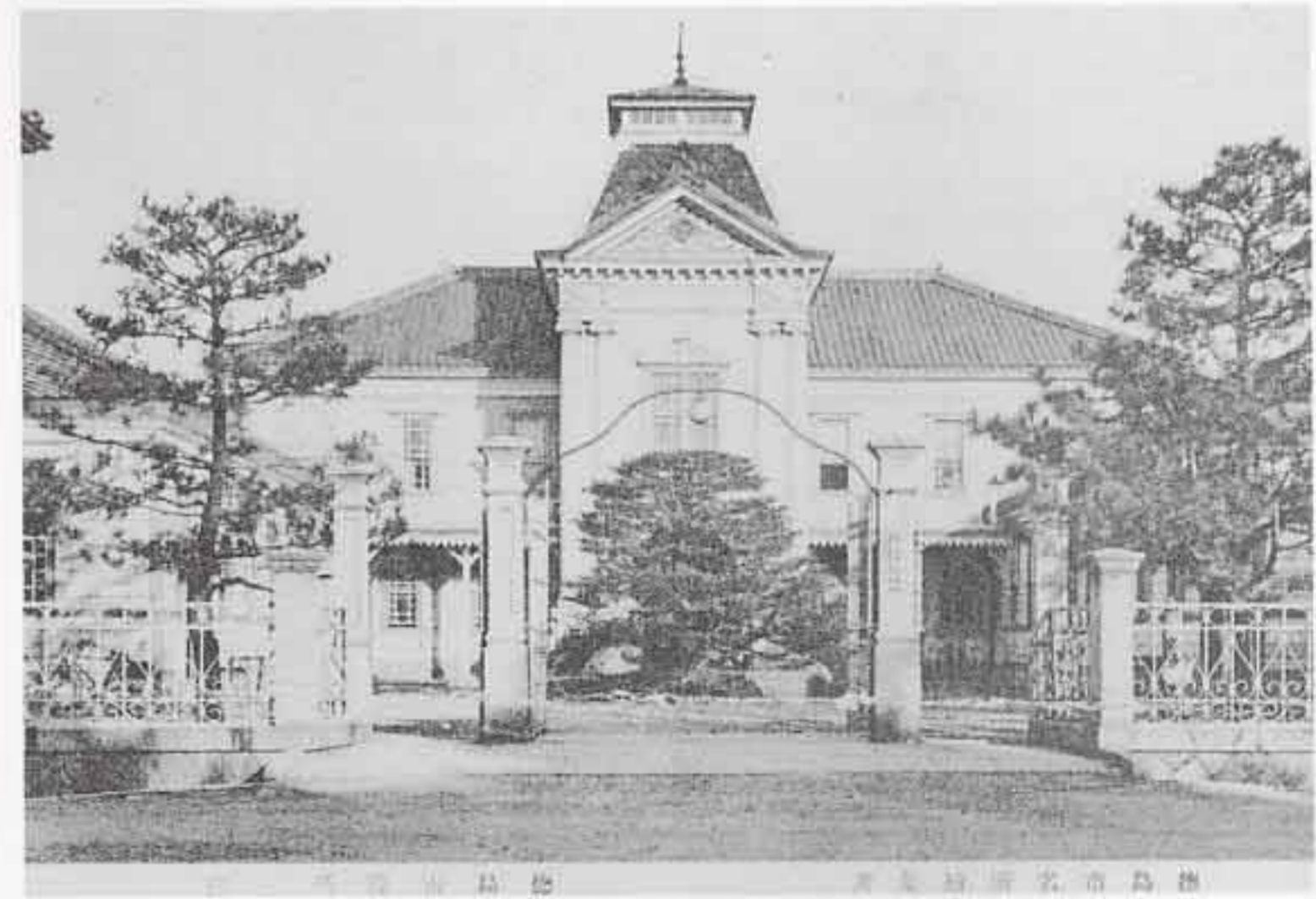
(製館眞島野上町田池) 景ノ中事工渡業カアーク橋好三 縣島徳
三好橋建築中 (昭和2年)



旧県庁 (昭和初期)



新町橋 (昭和初期)



旧市役所 (昭和初期)



両国橋 (昭和初期)



旧教育会館 (昭和9年)



(大正期)

阿波踊り



(大正期)



(昭和初期)



(大正期)



(昭和初期)



(大正期)



(昭和初期)

色刷りされた 絵はがき



阿波踊り（大正期）



新町橋（昭和初期）



阿波踊り（大正期）



徳島公園（昭和初期）



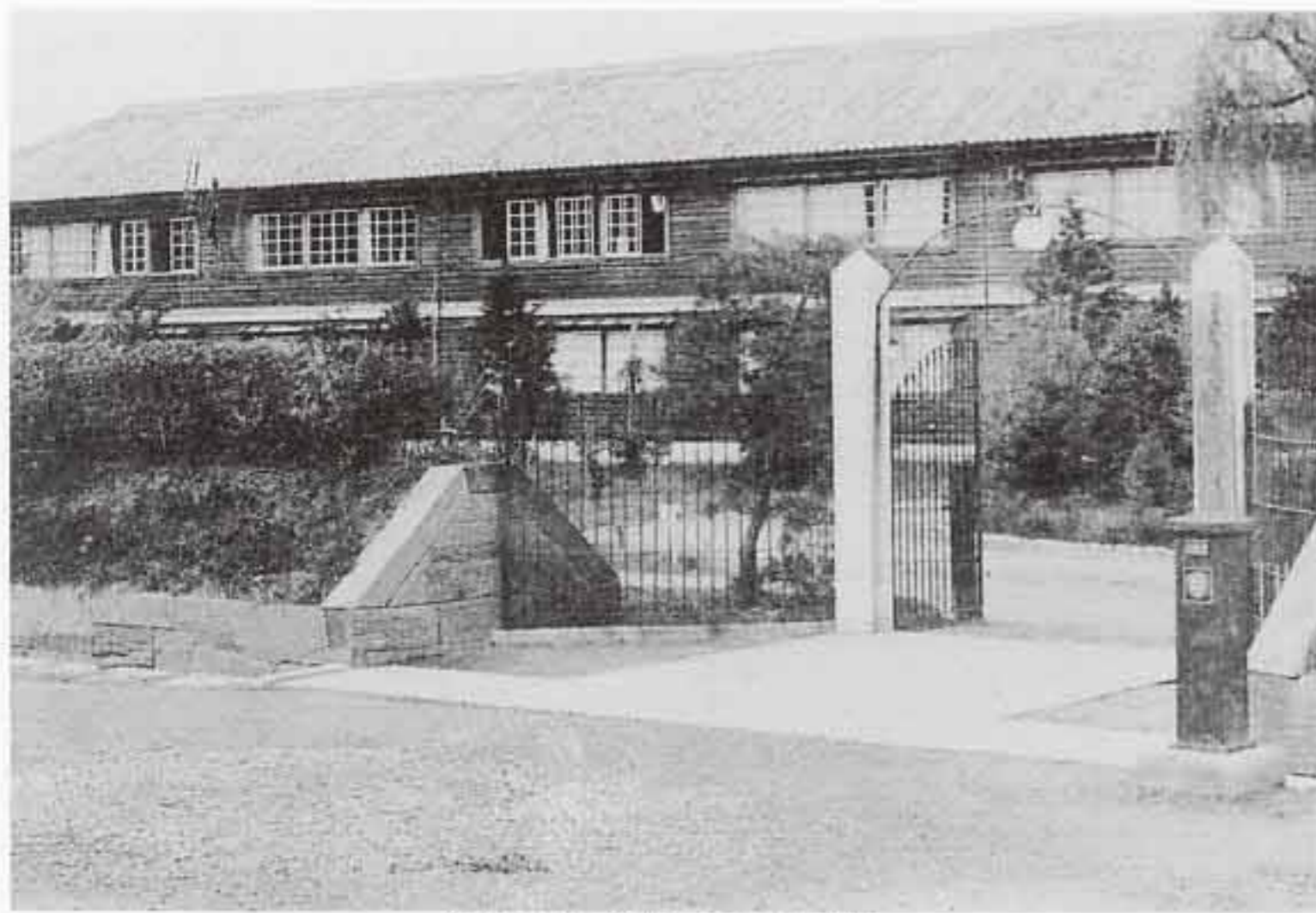
ワンワン凧（昭和初期）



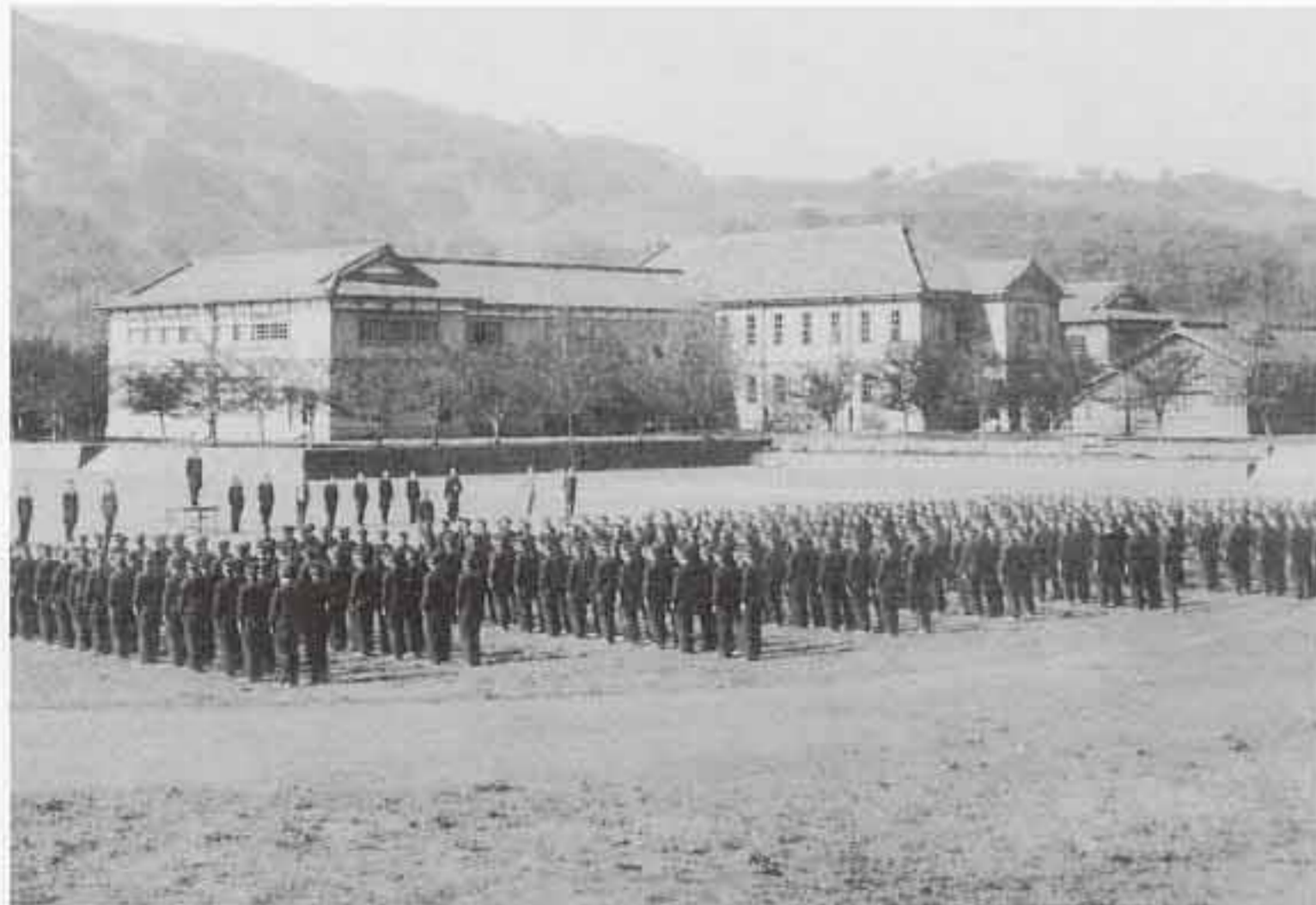
小松島港（昭和初期）



ワンワン凧（昭和初期）



徳島師範学校（昭和初期）



池田中学校（現池田高等学校）（昭和初期）



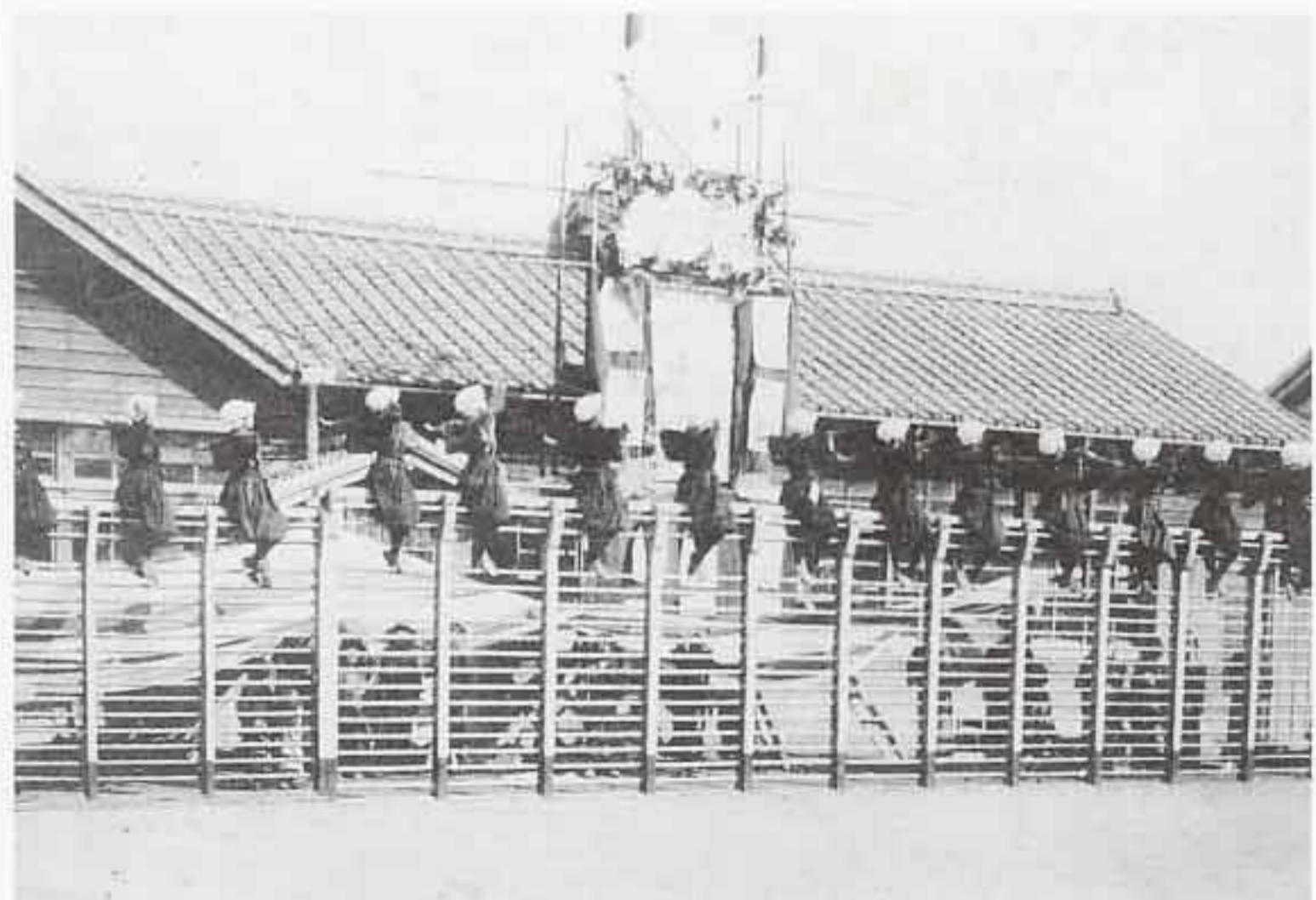
徳島中学校 玄関正面

徳島中学校（現城南高等学校）（昭和8年）



THE RUIN OF MOST AWA BOATWALK'S HOUSE AND
NEW TSUBAKITOMARI SCHOOL HOUSE, TSUBAKITOMARI AWA.
杏枝新川舟歩の氏舎跡水鏡阿（船名泊津渡阿）

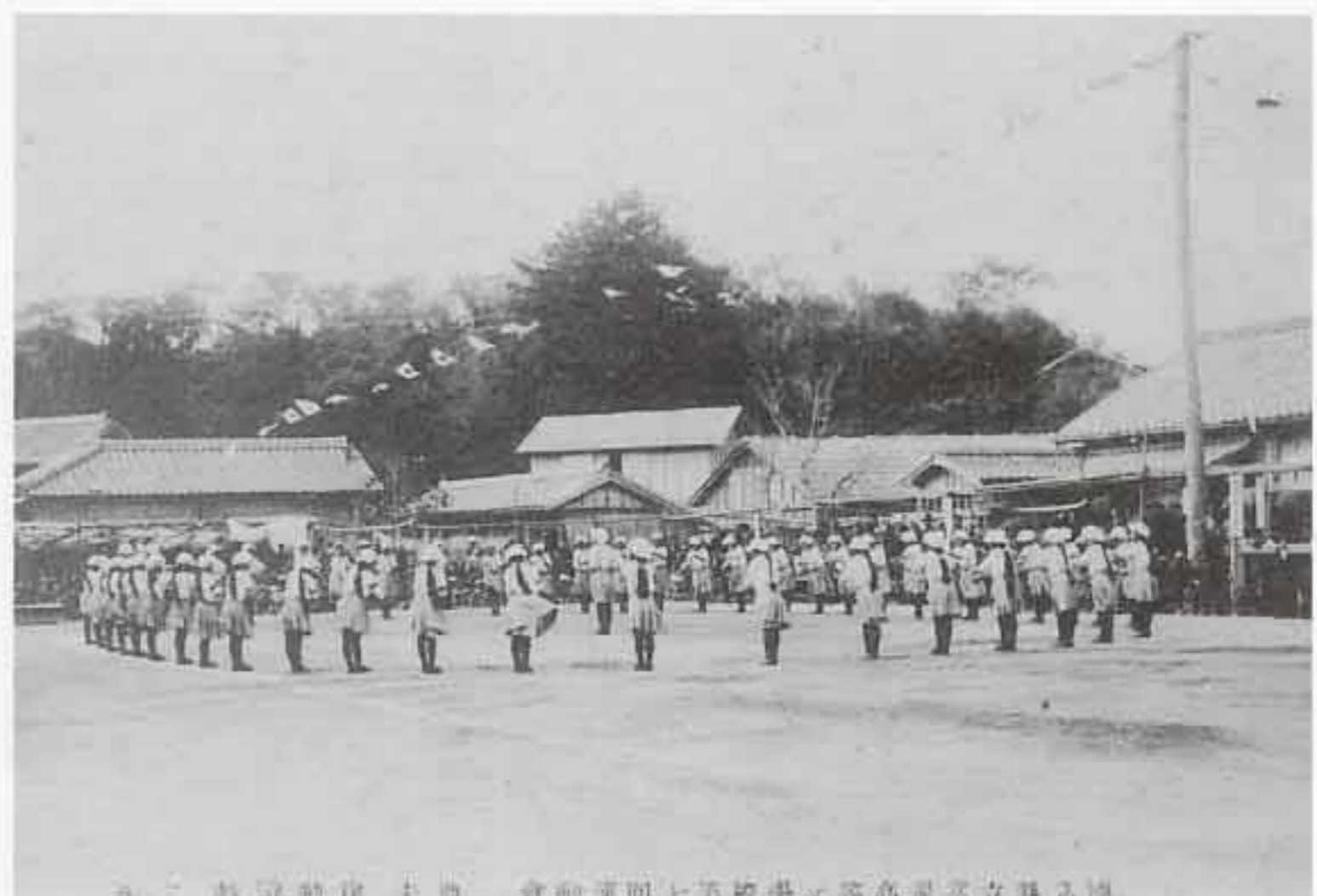
椿泊小学校（昭和初期）



那賀郡立那賀実科高等女学校（大正9年）



富岡中学校（現富岡西高等学校）（明治43年）



富岡高等女学校（現富岡東高校）（大正10年）



展示資料目録

	標 題	年 代	資料番号
壁面ケース A 阿波踊り			
1	阿波踊り	昭和10年代	井上家文書9283
2	〃	昭和10年代	文書館所蔵 1
3	〃	昭和10年代	〃 2
4	〃	大正期	〃 5
5	〃	大正期	福田家文書A-1
6	〃	大正期	〃 A-3
7	〃	大正期	〃 A-4
壁面ケース B 徳島の橋と建物			
8	三好橋(建設中)	昭和2年	池田町所蔵 7
9	かずら橋	昭和初期	〃 12
10	新町橋	昭和初期	福田家文書D-3
11	新町橋	昭和10年代	横井家文書 9
12	両国橋	昭和初期	橋本家文書 1
13	旧々県庁	大正期	文書館所蔵 10
14	旧県庁	昭和初期	福田家文書D-4
15	旧市役所	昭和初期	橋本家文書 2
16	呉郷文庫	昭和初期	〃 23
17	旧教育会館	昭和9年	〃 29
展示ケース1 徳島の学校			
18	那賀実科女学校(富岡東高校)	大正9年	横井家文書 1
19	富岡高等女学校(富岡東高校)	大正10年	〃 2
20	椿泊小学校	昭和初期	〃 6
21	富岡中学校(現富岡西高校)	明治43年	〃 40
22	徳島中学校(現城南高校)	昭和8年	橋本家文書 16
23	徳島師範学校	昭和初期	文書館所蔵 8
24	池田中学校(現池田高校)	昭和初期	池田町所蔵 2
展示ケース2 徳島の風俗			
25	ワンワン風	大正期	池田町所蔵 1
26	白地の渡船場(渡し船)	大正期	〃 6
27	ワンワン風	昭和初期	福田家文書B-2
28	小松海水浴場	昭和初期	文書館所蔵 11
29	小松海水浴場	昭和初期	〃 13
30	幾原知重氏 徳島飛行	大正12年	河野家文書 2
展示ケース3 街の姿			
31	徳島遠景	昭和初期	文書館所蔵 9
32	富岡町(阿南市)新町	昭和10年代	横井家文書 7
33	十郎兵衛屋敷	昭和10年代	〃 8
34	徳島公園	昭和初期	〃 10
35	新町通り	昭和10年代	〃 15
36	津田港	昭和初期	橋本家文書 14
展示ケース4 小松島の港と船			
37	小松島の帆船	明治末期	文書館所蔵 11
38	小松島旧港埠頭	大正期	鎌田家文書A-17
39	第26共同丸就航風景	大正9年	〃 20
40	小松島停車場(駅)	大正2年	〃 29
41	神田瀬川口の帆船	明治末期	〃 B-3
42	皇太子殿下上陸の地	明治41年	〃 4

※期間中、展示品を入れ替えることがあります。

編集発行 徳島県立文書館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
電話 〇八八六(六八)三七〇〇

印刷 原田印刷出版株式会社

〒770-0903 徳島市西大工町四ノ五
電話 〇八八六(二二)三三五六